



編集委員がインタビュー *interview*

interview 02 市内の事業者インタビュー

ふじみ野市中小企業及び小規模企業振興基本条例が4月1日から施行されました。
市内の事業者コロナ禍での仕事などの話を伺いました。

コロナ禍での仕事は

問 コロナ禍で仕事の影響は。

答 井上さん 水回りのリフォームの仕事をしていますが、それほど影響はありません。お客さんのところでの作業は感染症対策を行い、気を付けて仕事をしています。仕事仲間の職人の中には、コロナの影響で仕事が減った人がいたと思います。

加藤さん 市内で行政書士として事務所を構えています。コロナで仕事が先延ばしになったときもありました。お客さんがコロナの影響を受けていたため、間接的にも影響がありました。市の支援金制度は、市内の事業者にとって有り難かったと思います。仕事柄、飲食店などの支援金の事前確認などの各種申請サポートを行っていますが、フリーランスの人たちがもっと行政に相談できる機会が増えると良いと考えています。

ふじみ野市での社会貢献

問 ふじみ野市でどのようなことに貢献していきたいですか。

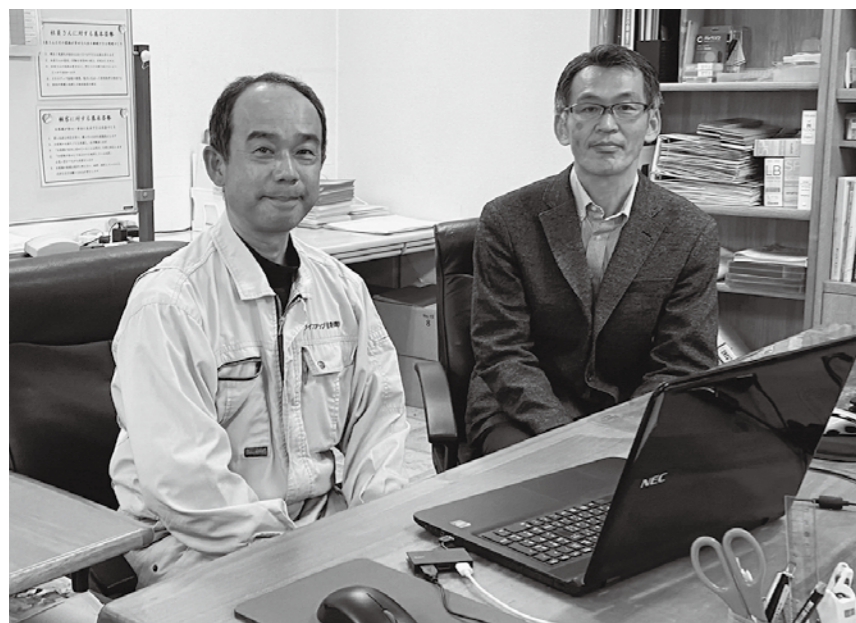
答 井上さん 中小零細企業は地域に根ざしているため、地元の雇用や納税などに貢献していきたいです。市内の地元企業主催のサークルフェスタというイベントを企画し、各種サークル発表や地元プロ歌手のステージ、個人商店や中小企業の紹介ブースなどを設営しています。ここ数年はイベントができていませんが、これまでは年々来場者が増えています。地元の方に喜んで頂ける事業者を増やし、事業で出た収益の一部を地元還元したいと考えています。

条例に期待することは

問 条例に期待することは。

答 井上さん・加藤さん
ふじみ野市の産業振興施策が拡充されることを期待しています。条例に魂を入れるために、行政と市内の事業者が産業振興施策を具体化に向けた交流会を実施することも大事だと考えています。また、様々な勉強会も一緒にやっていく必要があると思います。

いのうえとしふみ
井上敏郁さん (左)
(水回りリフォーム事業者)
かとうやすひろ
加藤康弘さん (右)
(行政書士、ファイナンシャル・プランナー)



interview 01 小学生の子どもたちにインタビュー

ふじみ野市こどもの未来を育む条例が4月1日から施行されました。
小学校の子どもたちに学校生活の話を伺いました。

遊びの場は

問 どのような外遊びをしますか。

答 外川さん 体を動かすのが好きで、休み時間や放課後に学校でドッジボールをします。

百崎さん 土日などは野球のクラブチームで活動します。

問 コロナで遊び方は変わりましたか。

答 外川さん 学校ではコロナで密になる遊びができません。

百崎さん コロナ後にボール遊びができなくなりました。

問 どのような公園があったらいいですか。

答 外川さん ドッジボールやバスケットボールのコートを公園につくってほしい。朝霞市のプレーパークによく遊びに行きますが、ふじみ野市の公園でも火起こしをしてみたい。

百崎さん ボール遊びができる施設をつくってほしいです。



学校生活は

問 コロナで学校の勉強は変わりましたか。

答 外川さん みんなで集まって行う大きな新聞づくりができなくなりました。

百崎さん 授業で行く予定だった川口市にあるSKIPシティに行けなかったです。

困ったときの相談相手は

問 困ったときに話を聞いてくれる大人はいますか。

答 外川さん 相談相手はお母さん。

百崎さん 親や先生。

問 両親や学校の先生以外では、身近に相談にのってくれる大人はいますか。

答 外川さん 同居のおばあちゃんが気軽に話せます。

百崎さん 近くに住んでいるおばあちゃん。

ふじみ野市に一言

問 ふじみ野市にお願いしたことはありますか。

答 外川さん ふじみ野市は自然が豊かですが、学区内に公園が少ないので、公園がもっとほしいです。

百崎さん 合併したふじみ野市ですが、市主催のイベントが市役所周辺で開催されることが多いです。私たちの地域から行きづらいので、バスなどで移動しやすいようにしてほしいです。

東台小学校
5年生 外川華陽さん (左)
6年生 百崎隼士さん (右)